

東日本ユニオン よこはま

J R 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2017春闘要求満額勝ち取ろう！ 家計を取り巻く環境は厳しい現実が…

①エンゲル係数が上昇

2001年以降、日本のエンゲル係数は23%台で推移していましたが、2014年から24%、2015年には25%と年を追うごとに上昇しています。2016年の年間では、25.8%に達しています（2人以上の世帯）

一方サラリーマンの平均年収は、2012年で408万円、2015年は420万円と給与は3%ほどしか上昇していません。各国のエンゲル係数（2011年度）は、アメリカ15.2%、ドイツ19.7%、カナダ20.9%、イギリス22.5%。

エンゲル係数を見ていくと日本の“貧しさ”が先進国の中で際立っています。

◆エンゲル係数とは・・・家計の消費支出総額中に占める食料費の割合。一般に、この係数が高いほど生活水準が低いとされる。

②2016年サラリーマンのお小遣い調査概要

男性会社員のお小遣い額は過去3番目に低い金額。平均お小遣いは37,873円と1979年の調査開始以来、過去3番目に低い金額です。



③家計における教育関係費の動向



2016年の家計の実質消費支出は前年比1.5%と7年ぶりの上昇。教育費が8.7%と2年連続で増加しています。

文部科学省の試算では、子ども一人当たりでみた生涯教育費（2014年度）は、幼稚園から大学まで効率で793万円、私立（ただし、小学校は公立）で1,538万円と高額になっています。

※数字は東日本ユニオン横浜地本調べ

2017春闘 第2回団体交渉は3月10日13時から